

虚淵玄原案・シリーズ構成のアニメ『OBSOLETE』公式コミカライズ

『OBSOLETE ハナブサレポート』連載開始のお知らせ

■作品紹介

『PSYCHO-PASS サイコパス』『魔法少女まどか☆マギカ』などで知られる奇才、虚淵玄が原案・シリーズ構成を務め、2019年12月にEP1～EP6が配信されたYouTube Originalsのアニメシリーズ『OBSOLETE (オブソリート)』。同作は、異星人ペドラーが人類にもたらした意識制御型汎用ロボット“エグゾフレーム”によって世界が変容していく様をオムニバス形式で描き、その独特な世界観やハードで緻密なアクション描写から世界中で人気を博しており、今年(2020年)冬にはEP7～EP12の配信も予定しています。

そんな国内外のファンが注目する人気アニメの公式コミカライズが、満を持して始動します。『OBSOLETE ハナブサレポート』と題された同作は、アニメシリーズ本編のコミカライズパートと、コミック独自のオリジナルパートによって構成されており、オリジナルパートではアニメ本編でこれまで描かれなかったザクトガレン協定締結以前、2014年を舞台に“エグゾフレーム”が世界に蔓延していく様を、ジャーナリストのハナブサの視点で描きます。

同作を手掛けるのは、アニメシリーズにも美術設定として参加した曾野由大氏。『OBSOLETE』の世界に精通する氏だけに、どんな物語を紡ぐのか期待してお待ちください。

■作品概要

異星人ペドラーから人類に与えた新技術エグゾフレームは、世界のパワーバランスに急激な変化をもたらした。世界の警察を自称していたアメリカが対エグゾフレーム戦の泥沼に足を踏み入れる契機となった先進国による国際的なエグゾフレーム規制、ザクトガレン協定は如何に締結されたのか。

アメリカ軍海兵隊員ボウマンとアウトキャスト・ブリザードのザーヒルのエピソードのコミカライズと、ビデオジャーナリスト・ハナブサの視点でザクトガレン協定締結に至るまでの2014年の世界を描くオリジナルパートを、交互に交えて描くもうひとつの『OBSOLETE』の物語。

タイトル：『OBSOLETE ハナブサレポート』

著者名：漫画 曾野由大

原作 EXO-PEDDLERS

原案 虚淵玄（ニトロプラス）

クレジット：(C)PROJECT OBSOLETE

掲載媒体：コミック Newtype (<https://comic.webnewtype.com/>)

連載開始日時：2020年9月25日（金）AM:11:00～ ※プロローグ掲載予定

（10月23日（金）に本格連載スタート。以降は毎月第4金曜日更新予定）



コミックのオリジナル主人公：ハナブサ



アニメ本編のキャラクター：ボウマン



エグゾフレーム、イメージ画